

学校だより 志

「チームワークを大切にした教育」



令和5年度 No. 41

令和6年3月12日

郡山市立小山田小学校

文責 校長 佐久間 誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリプで目標を達成しよう



東日本大震災から13年

平成23(2011)年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震。この地震により、震度6強以上の強い揺れが、東北地方の広い範囲で観測されました。今の子どもたちにとっては生まれる前の出来事。あっという間に13年が経ちました。

今年の1月1日には能登半島地震で大きな被害が発生し、今も多くの方々が避難生活を送っています。最近では台風が大型化しています。豪雨による被害、さらに豪雨による土砂崩れも発生しています。日本は自然災害の多い国です。

大切な命を守るために子どもたちに伝えたいのは、「自分の命は自分で守る」ことです。

地震が発生したとき、台風や豪雨の被害が予想されるとき、何を持ち出すか、どこに避難するか等、非常時の対応をおうちの方と話し合っていたいただきたいと思います。

自然災害、交通事故、不審者による被害事故、いずれからも命を守るために大切なことは、「準備をすること」だと考えています。準備をすること＝約束を決めること、そして約束を実行すること。

学校では、命を大切にしていくために「自分の命は自分で守る」ことを指導し続けていきます。



帰宅後や休日の過ごし方について

3月になり、日が長くなり、子どもたちも外で遊ぶことが増えました。3月からは帰宅時間も午後5時までとなっています。そこで心配されるのが交通事故などの事故や事件です。



学校では以下の6点について繰り返し指導を行っていますが、帰宅後や休日は、ご家庭や地域で子どもたちを見守っていただくことになります。そのため、ご家庭での関わりがとても重要になります。

そこで、ご家庭で、帰宅後の過ごし方、休日の過ごし方、安全な生活の仕方などについて、お子さんと話し合って確認していただきますようお願いいたします。



- 午後5時までに家に帰る(午後5時には家にいる)
 - 道路では絶対に遊ばない、飛び出しは絶対にしない
 - 川には近づかない、絶対に入らない
 - ボールが道路に転がっても追わない、ボールが川に入っても取りに行かない
 - 「いかのおすし」を守る
 - お金(財布)、貴重品、家の鍵、メガネなど、大切なものはバッグなどにきちんと入れる。
- お金の貸し借りは絶対にしない。

また、子どもたちの危険な行動を見かけた際には、その場で子どもたちに声をかけるなどして、子どもたちの安全を守っていただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

見守り隊の皆様、ありがとうございます ～感謝の会に出席された方々です～

